



学校だより

第15号

令和7年12月1日(月)
発行者:新宿区立
落合中学校長

今年も ラスト1ヶ月

「師走」を迎えて

記録的な猛暑・残暑の夏、短かった秋…早いもので令和7年も最後の月を迎えました。大阪万博、日本人のノーベル賞受賞、日本初の女性総理大臣、市街地への熊の出没・人的被害など、個人的には、前半よりも、夏以降の出来事が頭に浮かぶ一年でした。

学校の方では「運動会」「落中発表会」などの全校行事、各学年の「宿泊行事」等、多くの場面で生徒の成長を実感しつつ、大きな成果・充実感とともに、どの行事も無事に終わりました。

12月を迎えて、あらためて、月日の流れの早さを感じています。特にここからの1ヶ月、時間は流れるように進み、いつの間にか「年の瀬」となることでしょう。締めくくりの月…この1年の自分の成長をしっかりと振り返り、来る2026・午(うま)年が一層飛躍の年になるよう、一日一日を大切にし、締めくくっていきましょう。



第77回 人権週間

「誰かのことじゃない」

毎年、学校だより12月号では、みんなで「人権」について考え、お互いを認め合い、尊重し、豊かな共生社会を築いていく契機にしたい…という願いを込め、「人権週間」について書いています。

「人権週間」とは、法務省が主体となり、毎年12月10日を最終日とする一週間〔12/4～12/10〕を「人権週間」と定め、日本全国でいろいろな啓発活動を展開し、人権尊重の意識の高揚を図り、人権を考える契機としています。

この12月10日は、昭和23年(1948年)に「世界人権宣言」が採択された日であり、この日を「人権デー(Human Rights Day)」と定めています。この「世界人権宣言」自体、第二次世界大戦という未曾有の「世界的悲劇を繰り返さない」と

いう強い願いから生まれたのですが、残念ながら、現在も世界各地で紛争が絶えず、悲劇が繰り返されています。

私たちの身近なところでも、いじめや虐待、性被害等の子どもの人権問題、外国人やアイヌの人々、障がいのある方、性的マイノリティ等に対する偏見や差別など、特に顕著になっているのがSNS、インターネット上の人権侵害であり、多様な人権課題が依然として存在しています。

『人権』は、誰もが『重要で大切』と理解しつつも、日々の生活の中ではその意識が薄くなり、なかなか自分のこととして捉えることが難しい言葉かもしれません。毎年、啓発

ポスターに書かれているフレーズ



『「誰かのことじゃない』』この一行が現状を表し、私たちに投げかけられている課題のように感じます。

11月、学校では「ふれあい月間」の取組をとおし、いじめや何気ない言動など、学校生活における人権を考え、自分と周囲を振り返る機会としました。社会全体でも、厚生労働省は「児童虐待防止月間」、こども家庭庁は「秋のこどもまんなか月間」とし、児童・生徒の人権を守る運動や社会全体でこどもや子育て中の方々を支える機運醸成を図る取組を行いました。

『人権』とは、「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」であり、「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」です。誰にとっても大切なものの、守られなければならないものです。(法務省HPより)

この12月、「誰かのことではなく、自身の問題として人権を考える契機にしましょう。

デフリンピックに行ってきました

前号（14号）でもお知らせしましたが、東京を舞台に日本で初めての「デフリンピック」…1年生は〔11/19 バスケットボール〕、2年生は〔11/20 バレーボール〕観戦・応援に行ってきました。

デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない・聞こえにくい」という意味で、デフリンピックはそのような障がいのある方の「オリンピック」です。私たちがよく知っているオリンピック同様、4年に一度開催（前回はブラジル）されている国際スポーツ大会で、今大会はデフリンピック100周年となる記念大会です。

当日の観戦は1時間程度の短い時間でしたが、国歌演奏からは始まる国際大会の雰囲気を感じることができました。この貴重な機会…もちろん日本選手団の健闘・活躍を願っていますが、生徒には、障がいそのことの理解と併せ、
○障害のあるなしに問わらず、互いに尊重しあうことの大切さ
○障害を乗り越え、夢や目標に向かう尊さなど、多くのことを感じ、学び、考えてほしいと思っています。次代の日本を創るのは皆さんです。

進路目標達成に向けて…マナー講習

11月19日（水）、2年生「職場体験」の準備として社会的マナーを教えていただいた八木春美先生にご来校いただき、今回は、3年生に対し、進路選択に係るマナー講習を行いました。すでに校内での面接練習も始まっており、今回の節目に面接試験のない生徒も、今後の就職面接等、社会に出る際には役立つ、大切な講習（内容）です。近い将来に備え、社会における基本マナーとして、しっかりと身に付けていきましょう。

落中生 文化面でも頑張っています

【夏目漱石コンクール・読書感想文・中学生の部】

朝日新聞社賞 1B I. T. さん

【薬物乱用防止・標語部門】

佳作 3A O. R. さん

「薬物は 夢も未来も 壊すもの

その一歩は 正解ですか」

12月 行事予定表

<生活目標>

○体調管理をしっかりしよう。

○今年を振り返り、改善すべき点は改善しよう。

曜	行 事 予 定	給食
1 月	全校朝礼 三者面談 ※面談期間、全校午前授業	○ 給食
2 火	三者面談	○
3 水	三者面談	○
4 木	三者面談	○
5 金	三者面談	○
6 土		
7 日		
8 月	生徒朝会／三者面談終	○
9 火	第2回小中連携日 ※全校午前授業	○
10 水	AM 音楽鑑賞教室(2)／職員会議	○
11 木	3年面談予備日（3年午前授業）	○
12 金	区学力調査(1・2)／専門委員会 3年受験写真	○
13 土		
14 日	都スピーキングテスト予備日(3)	
15 月	中央委員会／私立高校入試相談始	○
16 火		○
17 水	研修会	○
18 木		○
19 金		○
20 土		
21 日		
22 月	スキー教室保護者説明会(2)	○
23 火		○
24 水	大掃除	○
25 木	終業式／生徒会役員交流会	×
26 金	冬季休業始	
	12/29月～1/3土 学校閉鎖期間 1/7水 冬季休業終 [3学期・始業式] 1/8木 通常登校 ※給食なし	

